

プレゼンテーションタイトル

発表者名
所属・肩書き

セクションタイトル1

サブタイトル

項目1：

- 重要なポイント1
- 重要なポイント2
- 重要なポイント3

項目2：

- 重要なポイント1
- 重要なポイント2

セクションタイトル2

サブタイトル

1. 項目タイトル

項目の詳細説明。簡潔かつ分かりやすい表現で記述します。

2. 項目タイトル

項目の詳細説明。簡潔かつ分かりやすい表現で記述します。

3. 項目タイトル

項目の詳細説明。簡潔かつ分かりやすい表現で記述します。

セクションタイトル3

サブタイトル

小見出し1

ここに詳細テキストを記述します。箇条書きや短い文章で説明します。

小見出し2

ここに詳細テキストを記述します。

改行を使用して読みやすくすることも可能です。

小見出し3

ここに詳細テキストを記述します。表やリストの埋め込みも可能です。

セクションタイトル4

サブタイトル

項目1	項目2	項目3	項目4
データ1	データ2	強調データ	データ4
データ5	データ6	強調データ	データ8
データ9	データ10	データ11	データ12

セクションタイトル5

サブタイトル



セクションタイトル6

サブタイトル

問題点1 → 解決策または対応方法の説明

問題点2 → 解決策または対応方法の説明

問題点3 → 解決策または対応方法の説明

セクションタイトル7

サブタイトル

予算表

項目	金額	詳細
項目1	xxx円	項目の詳細説明
項目2	xxx円	項目の詳細説明
項目3	xxx円	項目の詳細説明

セクションタイトル8

サブタイトル

大見出し1

- リスト項目1
- リスト項目2
- リスト項目3

大見出し2

- リスト項目1
- リスト項目2

セクションタイトル9

項目1の説明文。簡潔かつ分かりやすい表現で記述します。

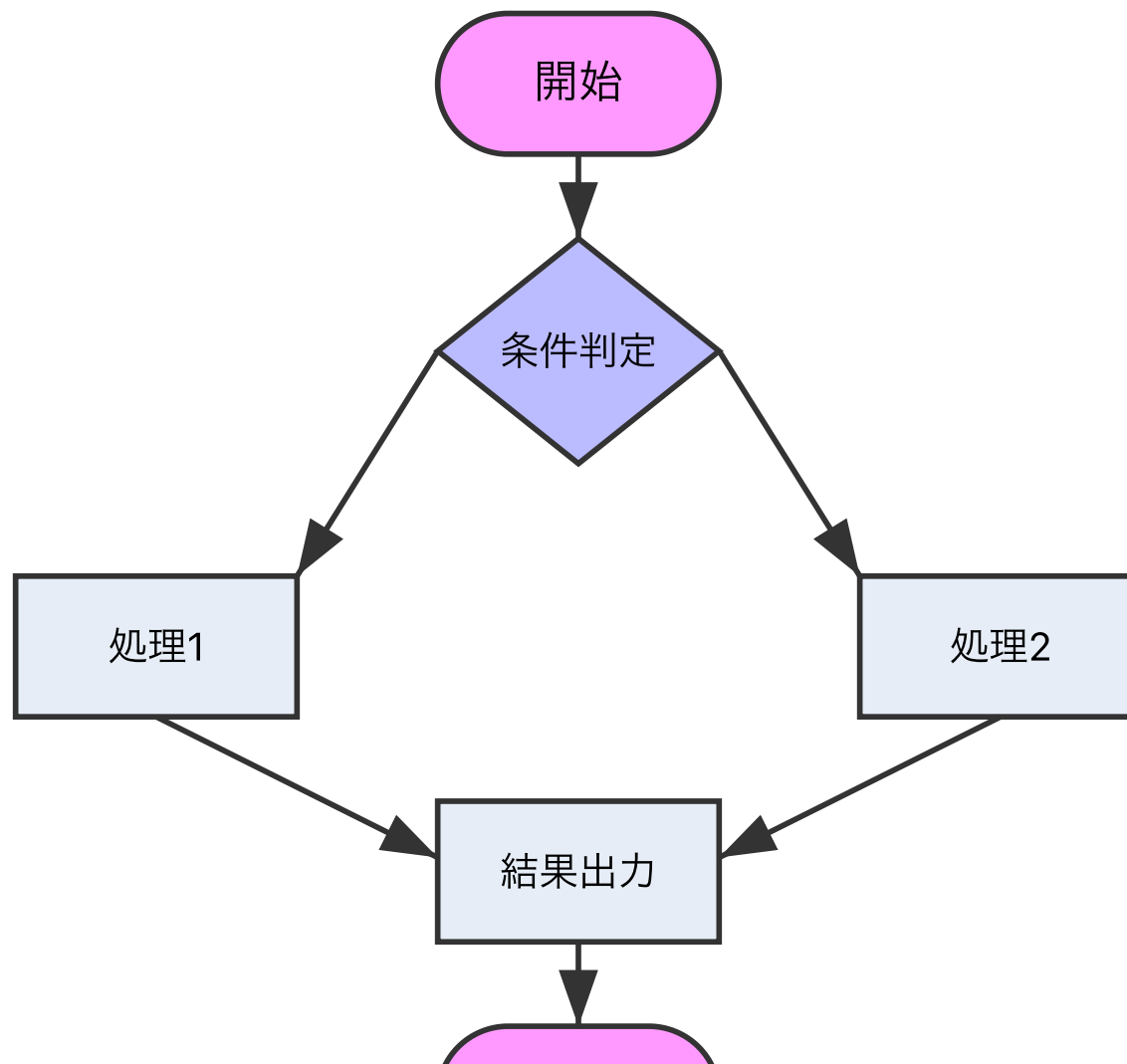
項目3の説明文。簡潔かつ分かりやすい表現で記述します。

項目2の説明文。簡潔かつ分かりやすい表現で記述します。

項目4の説明文。簡潔かつ分かりやすい表現で記述します。

SVGフローチャートの例

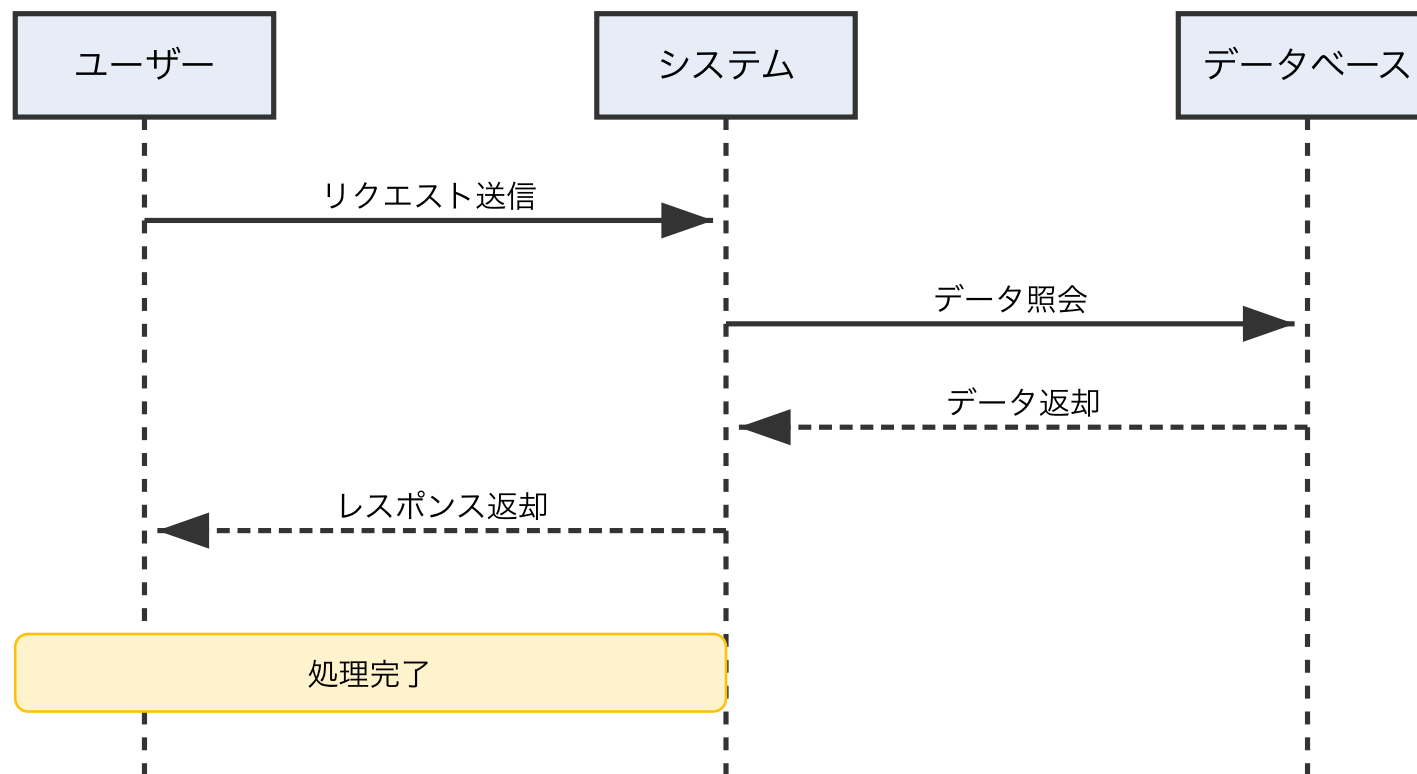
プロセスフローの可視化



はい
いい
え

SVGシーケンス図の例

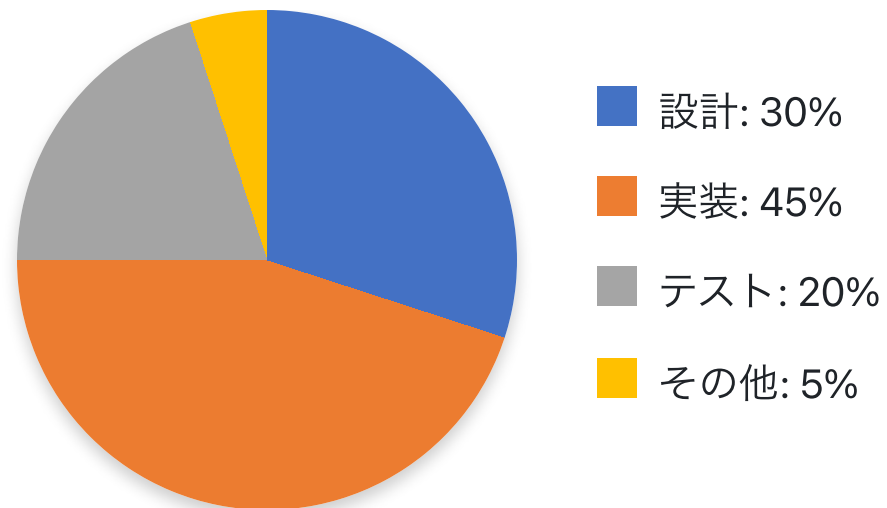
システム間の相互作用



ポイント： SVGを使用することで、シーケンス図も確実に表示されます。

SVG円グラフの例

プロジェクト工数配分

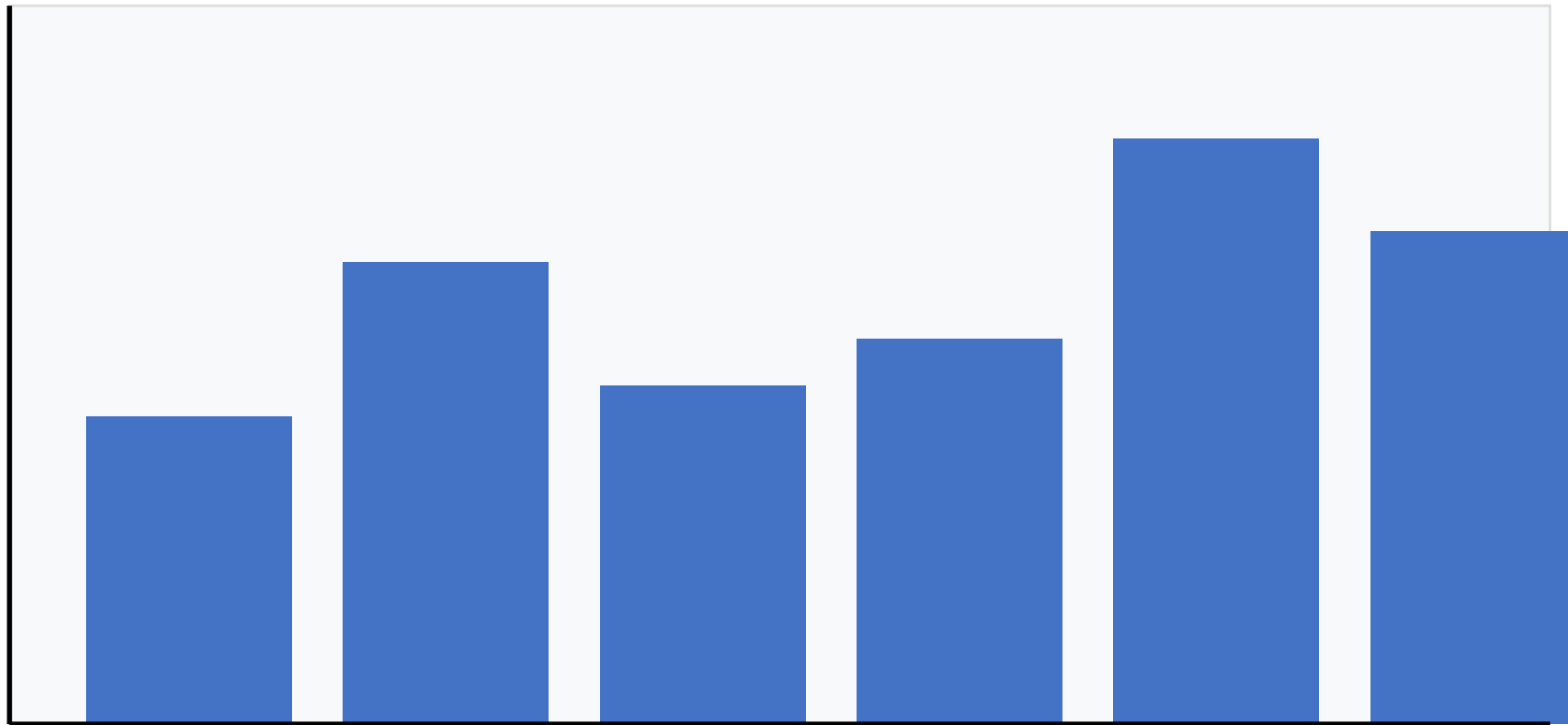


総工数：100人日

ポイント： SVGを使用することで、円グラフも確実に表示されます。

Chart.jsグラフの例：棒グラフ

月別売上データ



複合レイアウトの例

プロセス説明と図解

プロセスの概要

1. 要件定義

顧客のニーズを明確化

2. 設計フェーズ

システム構成を決定

3. 実装・テスト

品質を確保しながら開発

4. リリース

本番環境への展開

```
flowchart TD
    A[要件定義] --> B[設計]
    B --> C[実装]
    C --> D[テスト]
    D --> E{品質OK?}
    E --> |はい| F[リリース]
    E --> |いいえ| C

    style A fill:#e6edf7
    style F fill:#d4edda
```

図表サイズ制限のベストプラクティス

MARPでの効果的な図表表示

1. Mermaid図のサイズ調整

- コンテナに `max-width: 80-90%` を設定
- フォントサイズを `0.8-0.9em` に調整
- 複雑な図は分割して複数スライドに配置

2. Chart.jsグラフの制約

- `responsive: true` と `maintainAspectRatio: false` を設定
- コンテナの高さを固定値（400-500px）に設定
- PDFエクスポート時は静的画像を使用

3. 複合レイアウトの工夫

- グリッドレイアウトで図とテキストを配置
- 図の背景色で視覚的な分離を実現
- 余白を適切に設定して読みやすさを確保

タイムライン表示の例

プロジェクトの進行スケジュール



2024年1月

要件定義フェーズ - 顧客ヒアリングと要求分析



2024年2月

基本設計 - システムアーキテクチャの決定



2024年3月

詳細設計・実装開始 - 主要機能の開発



2024年4月

テスト・リリース準備 - 品質保証と展開準備

比較表の例

技術スタックの選定

評価項目	技術A	技術B	技術C
パフォーマンス	◎	○	△
学習コスト	△	◎	○
コミュニティ	○	◎	○
保守性	◎	○	◎

◎：優秀 ○：良好 △：普通

アイコン付きリストの例

システムの主要機能



データ分析機能

リアルタイムでデータを収集・分析し、ビジュアライゼーションを提供



セキュリティ管理

高度な暗号化と認証システムによる堅牢なセキュリティ



パフォーマンス最適化

自動スケーリングとキャッシュ機構による高速処理

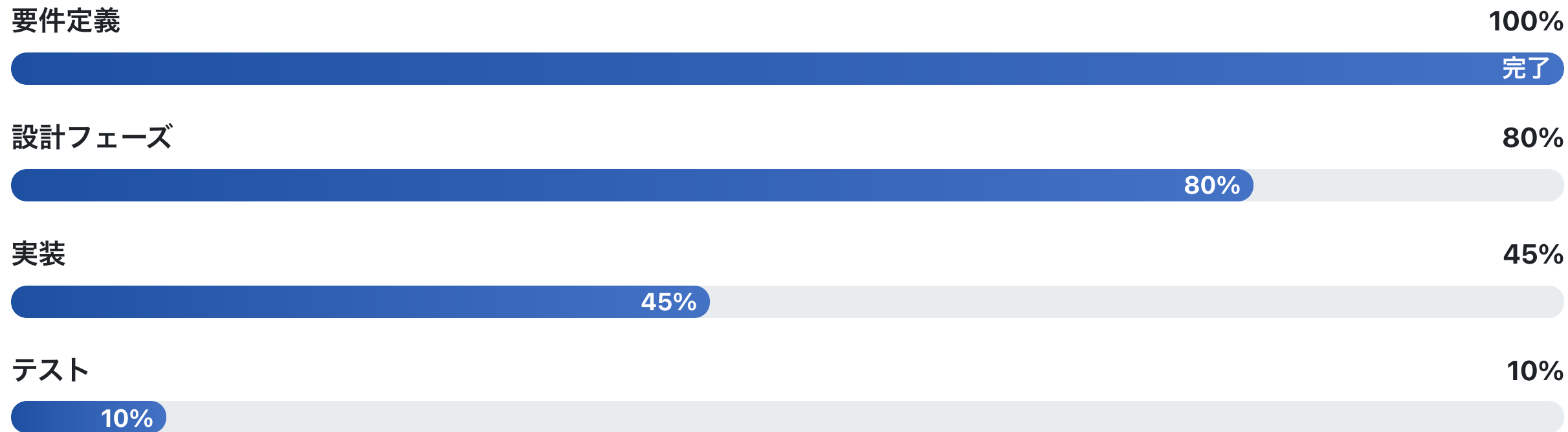


自動同期機能

複数デバイス間でのデータ自動同期とバックアップ

進捗インジケータの例

プロジェクト進捗状況



次のマイルストーン： 設計フェーズ完了（予定：2024年3月15日）

まとめ

本日のプレゼンテーションの要点

重要ポイント

1. 現状の課題

システムの老朽化とパフォーマンスの低下が主要な問題

2. 提案ソリューション

クラウドネイティブな新システムへの段階的移行

3. 期待効果

処理速度50%向上、運用コスト30%削減

4. 実施期間

2024年1月～6月（6ヶ月間）

次のアクション

- 詳細な要件定義書の作成（～2月末）
- ベンダー選定とRFP作成（3月中旬）
- 予算承認プロセスの開始（3月末）